

年度:2018年 LOM番号:451
【褒賞申請書】

事業名称	登米市佐沼夏祭り事業
カテゴリー	優秀LOM地域社会向上プログラム部門

申請LOM	東北地区宮城ブロックとめ青年会議所
LOMの人数	25名
理事長名	石塚琢磨
担当者名	杉山孝俊
担当者携帯番号	担当者E-Mail cbb19279@yahoo.co.jp
事務局住所	宮城県登米市迫町佐沼字中江5-8-11東北住販ビル3-A
事務局TEL	0220-22-7113 事務局FAX 0220-23-9699

本事業の参加者	会員数	28名
	関係者数	20名
	一般参加者数	380名
事業実施に至る背景 400文字程度	市町村合併をして10年以上が経つ現在も、旧町域ごとの意識が強く登米市の最大の夏祭りである登米市佐沼夏祭りですが、未だ一地域の祭りとしての認識が強い現状があります。この登米市佐沼夏祭りの価値を高め、登米市にしかない魅力として市民全員が誇りに感じる祭りを構築していく必要があります。	
事業目的 400文字程度	登米市佐沼夏祭りを登米市民が誇れる祭りにするとともに、多くの方に当事者として祭りに参加していただくことを目的とします。	
SDG'sの該当項目	(SDG'sの該当項目を記載)	

	17. 17	
事業概要 400文字程度	○市内介護福祉士施設への訪問演奏 ○迫支援学校の生徒との共同作業(うちわの作成・補修) ○登米市神輿祭の主催	
開催期間・ タイムスケジュール	2018年7月21日(土)・22日(日)	
開催場所	21日(土) 登米市内各地 22日(日) 登米市佐沼夏祭り会場	
事業区分	継続	
公益・共益区分	公益事業	
事業総予算・収支	予算計:3,210,000 支出計:3,470,409	
協力団体	共催	
	協賛	
	後援	登米市・登米市教育委員会・(一社)登米市観光物産協会
	その他	協力団体 登米市神輿會
事業対象者	一般市民	
行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度	(事業の調査、立案、会議の流れ、実施活動、事業後の活動について記入) 市町村合併以来10年以上経過しているにもかかわらず、旧町域単位の意識が強いため、未だに登米市としての一体感にかけていたため、夏祭りをツールとして活用し市民共通の誇りとなるものを作る必要性がありました。 市内各地をまわり訪問演奏を行い、また介護施設を訪問することや迫支援学校の生徒と共同作業を行うことでなかなか祭りの雰囲気味わうことが難しい方にも参加していただいた。神輿祭においては市内外の企業・団体・一般の方にチラシ配布・ポスター掲示・声掛けなどを行い7基総勢400名の参加となりました。 事業後には登米市長、商工会長、夏祭り実行委員長、各種参加団体の代表者をお招きし、意見交換会を開催。市や夏祭り実行委員会へ開催日程を7月第4週に固定することや、400年以上続く祭りの歴史や由来を周知	

	<p>すること、行政のさらなる積極的参加を促してほしいなどの提案を行った。</p>
<p>結果 (RESULT)</p>	<p>(目的がどのくらい達成できたか、上記の結果の想定外の結果、結果の確認方法、検証結果を箇条書きで記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○参加者数が前年度比1.44倍 ○参加神輿数が1基増
<p>地域社会への影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業が与えた地域社会への影響を記入)</p> <p>一昨年から佐沼夏祭りという名称から登米市佐沼夏祭りに変更となり、一地域の祭りから登米市の祭りとしてという意識が祭り本体の実行委員会へも伝わり、運動の広がりを見せている。</p>
<p>LOMへの影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業がLOMに与えた影響を記入)</p> <p>年々規模が拡大している事業ということもあり、LOMメンバー一丸となって取り組まなければ成り立たなくなっており、メンバー一人ひとりが主催者意識を持って行動するきっかけとなっている。</p>
<p>事業の長期的な影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業の期待される長期的な影響を記入)</p> <p>主催団体であるため青年会議所のみでなく、市内各種団体と協力して運営することで、我々の運動の広がりが見込める。また、老若男女が関わりが持てる事業であることから、当事者として参加する市民が増えることで、地域に対する愛着を持たせることができ、将来的な事業継続を可能なものとする。</p>
<p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p>	<p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p> <p>祭りの開催地域のみでなく、市内各地域からの参加者、神輿の数を増やす試みを続けていかななくてはならない。また、行政等を含めた各種団体にこちらの想いや考えを伝える意見交換会などの継続が不可欠。</p>
<p>改善点</p>	<p>(改善点があれば記入)</p> <p>広報の強化(開催告知や参加者募集はもちろんのこと、事後広報)</p>
<p>JCI活動計画の推進 JCI VISION活動計画の推進 JCI MISSION活動計画の推進</p>	<p>(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)</p>

(事業風景の写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)



添付資料

PDF資料2MB、5ページ以内



<登米市の祭りを地域のたからに！>

<登米市佐沼夏祭り事業>

公益社団法人とめ青年会議所は2018年7月22・23日の土・日曜日に「<登米市佐沼夏祭り事業>」を<市内介護福祉施設、登米市佐沼夏祭り会場>にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この<登米市佐沼夏祭り事業>は<世代を問わず、多くの方が祭りの雰囲気を感じることができ、地域の宝としてこの祭りを認識していただくこと>を目的として開催されました。<参加者・参加神輿においても過去最高人数>という結果、目的を達成する事ができました。

<登米市佐沼夏祭り事業>とは？

詳細な事業内容

期日：2018年7月22日・23日

会場：市内介護福祉施設・登米市佐沼夏祭り会場

(事業内容)

- 市内介護福祉施設10箇所を巡り、訪問演奏を行う。
- 迫支援学校の生徒とともにうちわの作成や補修を行い、祭りで使用、配布を行う。
- 登米市の夏の風物詩として、市内に架かる三本の橋へ提灯の設置・点灯を行う。
- 登米市神輿祭の主催。7基の神輿、総勢380名の担ぎ手の参加（前年比1.44倍）

